

環境と時代との絶妙な調和を目指して。

 **大之木建設株式会社**

広島本社: 広島県広島市西区横川町2丁目10番21号
呉 本 社: 広島県呉市中央3丁目12番4号

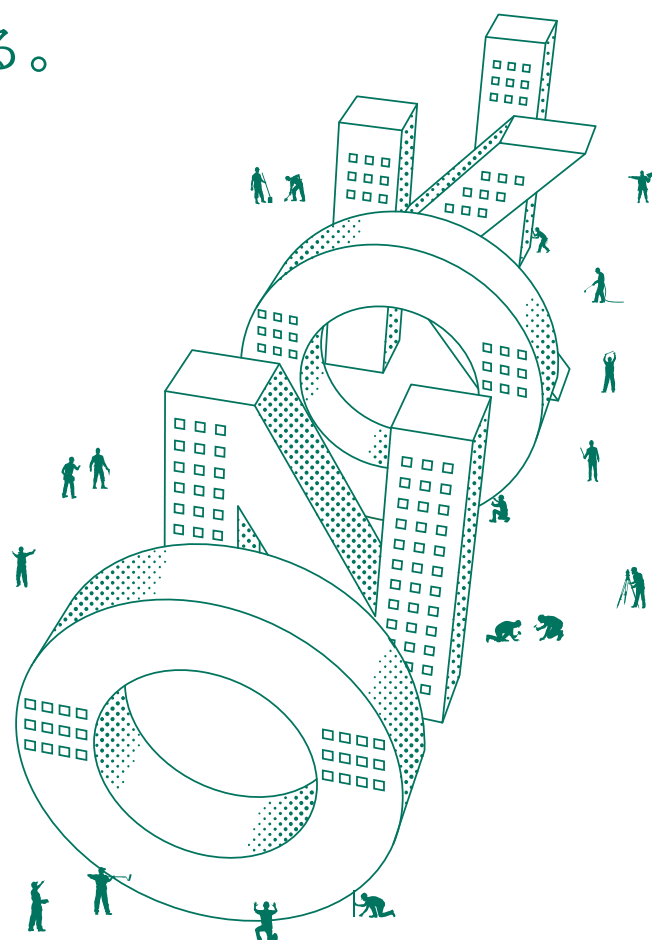
ONOKI COMPANY INFORMATION

まちをつくる。

にぎわいをつくる。

安心をつくる。

笑顔をつくる。



〈業務遂行指針〉

責任
遂行

創意
向上

相互
尊重

変えていくべきものと、決して変えてはならないもの。

そのバランスを見極めて

果敢なチャレンジを続けて行きます。

私たち大之木建設は1920(大正9)年、呉のまちに誕生して以来100年という時間をかけて、広島県全域へ、東京、大阪、福岡など日本を代表する大都市へと、着実に活動のフィールドを拡げてきました。

その活動の基盤には「相互尊重・創意向上・責任遂行」という創業以来の精神があります。どの都市のどのプロジェクトにおいてもこの精神を忘れることなく、一心に地域の安全と発展を願い活動を続けてきました。近年、気候変動等の影響から日本各地で大規模災害が多発し、甚大な被害が多発していますが、どの都市においても地域密着を第一と考え、迅速にメンテナンスに対応し、万一の災害時にもすぐに駆けつける体制を整えてきたからこそ、全国の多くのお客様から「大之木」という名前に信頼や期待をいただけていると感じています。

これから将来、社会や産業の変化とともに建築・土木を取り巻く状況もさまざまに変化していきます。私たち大之木建設は、環境や時代に合わせて進化していく一方、精神や信頼関係など、絶対に変えてはいけないものもあることを知っています。そのバランスをしっかりと見極めながら果敢なチャレンジを続けることで、次の時代を創っていきたいと考えています。

代表取締役社長

大之木 洋之介



創る そして つなぐ 次の100年

ONOKI GROUP
since 1920

Challenge and Innovation

挑戦と革新で次の時代を創造します。

大之木建設は1920年の創業以来、都市のランドマークとなる大型施設や公共建築物をはじめ、学校やオフィスビル、道路や橋、ダムや防災設備など、人々の暮らしに寄り添う建築物の施工に携わってきました。

その歴史と経験をもとに、これからも新たな領域へ挑み続けます。

1920▶

1920 大正9年
初代大之木小太郎、「大之木材木店」を呉市神田7丁目に創業

1926 昭和元年
呉市で貸家事業の展開を開始。土木・建設事業の経験と人脈を養う



1940▶

1941 昭和16年
「合名会社大之木小太郎商店」を設立。長男俊雄が筆頭代表社員に就任

1942 昭和17年
戦時中、木材統制令により統制会社「呉合同木材(株)」に参加



1944 昭和19年
「合名会社大之木小太郎商店」の建設部を母体とし、建設会社「株式会社 大之木組」を設立

1945 昭和20年
広島県下最大の酒造メーカー(株)三宅本店より戦後初の建築工事を受注



1946 昭和21年
進駐軍より英連邦軍第66歩兵大隊兵舎建設工事を受注

1947 昭和22年
広島市の官公庁が集中する地区(本川町)に広島出張所を開設



1948 昭和23年
「株式会社大之木組」を「大之木建設株式会社」に社名変更

1950▶

1951 昭和26年
東京丸ビルに東京出張所を開設

1952 昭和27年
広島市より市営若草町アパート(RC造4階建)工事を受注



九州の拠点として福岡市大濠公園に福岡営業所を開設
福岡県住宅協会から福岡市松原C団地工事を受注
四国の拠点として松山市三津浜に松山営業所を開設

1954 昭和29年
東京都立北品川保健所、東京電信電話局御成門分局など受注

1956 昭和31年
帝人(株)の岩国工場社員用アパート工事を受注
広島市復興事業の基町住宅群と広島バスセンター建設工事を受注



1959 昭和34年
東京、福岡、広島の各営業所を支店に昇格

1960 昭和35年
「積極的業務遂行」3つの業務指針「相互尊重・創意向上・責任遂行」の設定

1962 昭和37年
社訓「積極的業務遂行」3つの業務指針「相互尊重・創意向上・責任遂行」の設定

1964 昭和39年
シャープ(株)の祇園倉庫建設工事を受注

1966 昭和41年
シャープ(株)の八本松工場建設工事を受注

1967 昭和42年
静岡県の実鷹カントリークラブのコース造成とクラブハウス建設工事を受注

1968 昭和43年
静岡県の実鷹カントリークラブのコース造成とクラブハウス建設工事を受注

1969 昭和44年
静岡県の実鷹カントリークラブのコース造成とクラブハウス建設工事を受注

1970 昭和45年
静岡県の実鷹カントリークラブのコース造成とクラブハウス建設工事を受注

1971 昭和46年
静岡県の実鷹カントリークラブのコース造成とクラブハウス建設工事を受注

1972 昭和47年
静岡県の実鷹カントリークラブのコース造成とクラブハウス建設工事を受注

1973 昭和48年
静岡県の実鷹カントリークラブのコース造成とクラブハウス建設工事を受注

1974 昭和49年
静岡県の実鷹カントリークラブのコース造成とクラブハウス建設工事を受注

1975 昭和50年
静岡県の実鷹カントリークラブのコース造成とクラブハウス建設工事を受注

1970▶

1971 昭和46年
共英製鋼(株)より大阪の枚方工場建設工事を受注
広島基町高層アパート第4期分工事を受注

1972 昭和47年
初の高層建築として広島市内で11階建CIマンション広島ビルを竣工

1973 昭和48年
共英製鋼(株)より山口県小野田市に山口共英工場工事を受注

1975 昭和50年
大之木一雄が2代目社長に就任

1976 昭和51年
大之木一雄が2代目社長に就任

1977 昭和52年
大之木一雄が2代目社長に就任

1978 昭和53年
大之木一雄が2代目社長に就任

1979 昭和54年
大之木一雄が2代目社長に就任

1980 昭和55年
愛媛県青果農協組合のボンジュース製品倉庫、本館新築工事を施工

1981 昭和56年
愛媛県青果農協組合のボンジュース製品倉庫、本館新築工事を施工

1982 昭和57年
愛媛県青果農協組合のボンジュース製品倉庫、本館新築工事を施工

1983 昭和58年
愛媛県青果農協組合のボンジュース製品倉庫、本館新築工事を施工

1984 昭和59年
愛媛県青果農協組合のボンジュース製品倉庫、本館新築工事を施工

1985 昭和60年
愛媛県青果農協組合のボンジュース製品倉庫、本館新築工事を施工

1986 昭和61年
愛媛県青果農協組合のボンジュース製品倉庫、本館新築工事を施工

1987 昭和62年
横浜市西区の西野商事(株)本社ビル新築工事で、初の地下2階工事を施工

1988 昭和63年
横浜市西区の西野商事(株)本社ビル新築工事で、初の地下2階工事を施工

1989 昭和64年
横浜市西区の西野商事(株)本社ビル新築工事で、初の地下2階工事を施工

1990 平成2年
大之木晴樹が3代目社長に就任

1991 平成3年
大之木晴樹が3代目社長に就任

1992 平成4年
広島ビッグアーチ(広島市広域公園陸上競技場)工事が完成

1993 平成5年
広島ビッグアーチ(広島市広域公園陸上競技場)工事が完成

1994 平成6年
広島ビッグアーチ(広島市広域公園陸上競技場)工事が完成

1995 平成7年
広島ビッグアーチ(広島市広域公園陸上競技場)工事が完成

1996 平成8年
伊藤隆一が4代目社長に就任

1997 平成9年
伊藤隆一が4代目社長に就任

1998 平成10年
伊藤隆一が4代目社長に就任

1999 平成11年
国際規格ISO9001認証を取得

2000▶

2000 平成12年
大之木捷太郎が5代目社長に就任

2001 平成13年
シャープ(株)三原工場工事が完成

2005 平成17年
呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)建設工事が完成

2006 平成18年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2007 平成19年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2008 平成20年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2009 平成21年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2010 平成22年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2011 平成23年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2012 平成24年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2013 平成25年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2014 平成26年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2015 平成27年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2016 平成28年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2017 平成29年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2018 平成30年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2019 令和1年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2020 令和2年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2021 令和3年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2022 令和4年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2023 令和5年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2024 令和6年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2025 令和7年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2026 令和8年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2027 令和9年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2028 令和10年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2029 令和11年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2030 令和12年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2031 令和13年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2032 令和14年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2033 令和15年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2034 令和16年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2035 令和17年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2036 令和18年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2037 令和19年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2038 令和20年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2039 令和21年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2040 令和22年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2041 令和23年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2042 令和24年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2043 令和25年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2044 令和26年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2045 令和27年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2046 令和28年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2047 令和29年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2048 令和30年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2049 令和31年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2050 令和32年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2051 令和33年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2052 令和34年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2053 令和35年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2054 令和36年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2055 令和37年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2056 令和38年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2057 令和39年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2058 令和40年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2059 令和41年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2060 令和42年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2061 令和43年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2062 令和44年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2063 令和45年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2064 令和46年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2065 令和47年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2066 令和48年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2067 令和49年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2068 令和50年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2069 令和51年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2070 令和52年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2071 令和53年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2072 令和54年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2073 令和55年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2074 令和56年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2075 令和57年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2076 令和58年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2077 令和59年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2078 令和60年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2079 令和61年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2080 令和62年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2081 令和63年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2082 令和64年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2083 令和65年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2084 令和66年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2085 令和67年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2086 令和68年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2087 令和69年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2088 令和70年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2089 令和71年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2090 令和72年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2091 令和73年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2092 令和74年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2093 令和75年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2094 令和76年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2095 令和77年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2096 令和78年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2097 令和79年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2098 令和80年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2099 令和81年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2100 令和82年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2101 令和83年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2102 令和84年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2103 令和85年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2104 令和86年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2105 令和87年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2106 令和88年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2107 令和89年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2108 令和90年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2109 令和91年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2110 令和92年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2111 令和93年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2112 令和94年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2113 令和95年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2114 令和96年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2115 令和97年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2116 令和98年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2117 令和99年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2118 令和100年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2119 令和101年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2120 令和102年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2121 令和103年
大之木雄次郎が6代目社長に就任

2122 令和104年
大之木雄次郎が6代目

ONOKI WORKS

独自の技術と発想で新たな価値を創造していきます。

大之木建設が常に追求し続けているのは、より快適で、より機能的な空間づくりです。
確かな技術と柔軟な発想で、お客様の期待を超える新たな価値を創造していきます。



教育・文化・公共施設 事務所・店舗 工場・物流 医療・福祉 住宅 神社・仏閣



- | | | | | |
|---|--------------------------------|------------------------|-------------------------------|--------------------------|
| 1 | 1. シャープ(株)八本松(全景)
東広島市/2004 | 2. 佐伯警察署庁舎
広島市/2013 | 3. 広島文化学園大学阿賀キャンパス
呉市/1988 | 4. 県営舟入住宅3号館
広島市/2013 |
| 2 | | | | |
| 3 | 4 | | | |



- | | |
|---|---|
| 1 | |
| 2 | 4 |
| 3 | |
1. 大和ミュージアム
呉市/2005
 2. 第1術科学校教育参考館
江田島市/2008
 3. 広島広域公園陸上競技場
広島市/1992
 4. 海上自衛隊呉史料館てつのくじら館
呉市/2007

ダム・防災 トンネル 橋梁 道路 河川・下水道施設 港湾 造成他



- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | |
| 3 | 4 | 5 |
1. 横川駅前広場整備
広島市/2004
 2. 厳島港(宮島口地区)みなとの賑わいづくり事業
廿日市市/2018
 3. 高速4号線(広島西風新都線)トンネル
広島市/2001
 4. 広島市西部山系 赤土地2号砂防堰堤
広島市/2013
 5. 山陽自動車道 福山SAスマートチェンジ
福山市/2018

WORK STYLE

あらゆる部門にチャレンジしやすい環境が整っています。

大之木建設はコミュニケーションと連携を大切にする会社です。建築、土木、設計、メンテナンス、営業、事務.....
それぞれの部門内でのコミュニケーションはもちろん、部門間の連携を深め、自由に発想・提案できる環境を整えることで、建築作品にも日々の仕事にも新たな価値を創造していきたいと考えています。



建築部

工事の全てを管理し、施工チームをまとめる「マネージャー」です。

建築施工の仕事は、担当する建物の「安全・工程・品質・予算・工事」のすべてを、マネジメントし工事を円滑に進めていくことです。学校や病院、高層ビル、文化施設、物流施設など様々な建物を舞台に、品質や安全、コスト、工程、作業環境などあらゆる面を計画し、工期内に引き渡しができるよう工事を進めていきます。ひとつの建物を形にするためには、設計や現場の職人、そしてお客様など、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら進めていくことが大切。建物を創るのに説明書はありません。自分自身で工事のすべてを計画し管理する、それが建築施工の仕事です。



土木部

「社会の安全と発展」に欠かせない存在です。

交通インフラをはじめとする公共工事を中心に、さまざまな基盤作りや土木関連施設を舞台に、リーダーとして安全・工程・品質・予算などすべてをマネジメントするのが、土木施工の仕事です。現場で働く作業スタッフへの指示はもちろん、工事が図面通りに施工されているかを確認する「出来形管理」や、工種ごとに写真に撮って記録する「写真管理」など、あらゆる管理に携わります。また、自然を相手にする土木施工では、突然の非常事態への対応・防災対策にも力を注ぎます。

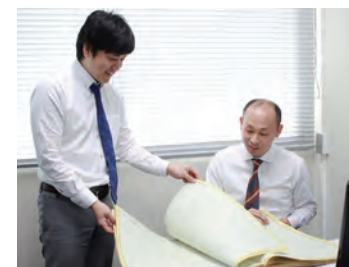
社会インフラの整備を通じて人々の生活に必要な基盤整備を行い、地域社会の安全と成長に貢献する仕事。だからこそ土木部の仕事には、大きな達成感を感じられます。



広島本社・呉本社(設計部・設備部・積算部・調達部)

アイデアを形に。新しい機能と価値を生み出します。

建設本部の仕事は、図面になる前から、引き渡しの後まで全工程に携わります。営業の受注支援やコンペの企画提案から、建設設計図の作成、生産設計や施工監理といった専門職と共に工事完了を見届け、お客様へ引き渡しをして、その後も定期検査といった「保全段階」まで、幅広く担当します。その間、プロジェクトに関わるさまざまな人々とコミュニケーションし、建物を完成させるその工程は、学びと成長の連続です。



メンテナンス部

お客様の安心を支える、建物の「かかりつけ医」です。

大之木建設は完成後の建物の資産価値の維持・向上も大切な仕事と考えており、建物のリフォーム工事や竣工後のアフターサービスを行う専門部門のメンテナンス部があります。メンテナンス部では、お客様からのあらゆる要望に対し、いつでも他部署と密に連携を取りながら迅速に対応する体制を整えています。つまりメンテナンス部は、お客様にとって頼れる建物の「かかりつけ医」のような存在で、信頼と安心の輪を大きく広げています。



営業統括部

自らが主体となり、ゼロから建物を生み出す「プロデューサー」です。

建設会社の営業は、「形のある商品」を売る一般の営業とは異なり、「形のない空間」=「ゼロからものづくり」をプロデュースするのが仕事です。中長期的な視点を持ってお客様と向き合い、信頼を積み重ね、建設ニーズをキャッチした後は、土地や周辺環境の情報を調査・収集し、建築許可の申請、着工から竣工までをプロデュース。営業で何より武器になる「情報」を逃さないことも重要で、その時々によって立場や役割を臨機応変に変えて関係者と調整することも仕事に含まれます。だから営業には、よりよい形でプロジェクトを進めていくことのできるプロデューサーとしての「人間力」が求められます。



総務部・システム管理部

柔軟な対応で現場を支える「キーパーソン」です。

建設会社にとって、利益の源泉である現場運営はもちろん大切ですが、それと同じぐらい重要なのが、社内ですれらをサポートする組織運営です。総務・経理・人事・企画・庶務など、事務系の仕事はさまざまで、現場や営業などをサポートしています。スタッフ部門の社員は、技術系社員のように現場の最前線で仕事をするわけではありませんが、プロジェクトが円滑に行われるよう、正確な作業が必要とされます。経営やマーケティングなど、会社のもう一つの根幹を確実に支え、当社における「ものづくり」の一翼を担う仕事です。



株式会社大之木ファーム

農業を通じて、素敵な縁をつなげたい。

大之木建設では、地域創生事業とSDGsの目標(すべての人の健康と福祉を)の狙いから、農業分野にも進出しました。広島県廿日市市の自社機材センター跡地で苺のハウス栽培に取り組んでいます。その基本の考えは農業に頼らない栽培で、国際基準(GGAP)の認定も取るほど、食の安全にこだわった苺を育てています。苺を苗から手間と長い時間をかけて育て、果実が実った瞬間の達成感は言葉にできないほど。食には人を元気にする力があります。安全で美味しい苺を作ることで、素敵な縁を広げていきたいと思っています。



SUSTAINABLE WAY

持続可能な社会実現のために大之木のやるべきこと。

貧困や飢餓、差別、気候変動、環境破壊など国際社会共通の問題に皆で取り組む活動、「SDGs」。

大之木建設は「SDGs」を事業活動の重要テーマととらえ、インフラ整備、防災、環境、雇用創出などさまざまな面から複合的に課題解決に取り組んでいます。



SDGsへの取り組み

大之木建設では、建築・土木における事業活動や災害復旧活動を通して、災害に強く環境負荷の低減に役立つまちづくりを推進しています。

(11.住み続けられるまちづくり/13.気候変動に具体的な対策を)

また技術革新に積極的に取り組むことで、建築・土木の新たな可能性を拓く挑戦を続けています。

(9.産業と技術革新の基盤をつくろう)

さらに雇用を創出し働きやすい環境を整えるとともに、協力会社との連携を深めることで、すべてのステークホルダーのいきがいと働きがい向上をめざしています。

(8.働きがいも、経済成長も)



社会貢献活動

大之木建設は、広島県からアダプト活動団体の認定を受け、地域社会の環境美化活動へ積極的に参加しています。本社、広島支社では献血等を通じて社会奉仕活動も行っています。

また、近年多発する大規模災害の発生時には、いち早く被災者に対する支援や救護活動に参加できる体制を整えるとともに、建築・土木のスペシャリストとして復旧・復興活動に参加しています。



環境美化活動



献血活動

環境活動

「地球環境保全をもっと身近なところから」をテーマに、太陽光発電の提案を積極的に行うなど、省エネルギーと創エネルギーに幅広いご要望にお応えできる体制を整えています。また循環型社会に貢献するため、本社をはじめすべての事業所においてリサイクル率95%を目標に取り組んでいます。さらに、災害復旧現場においても新技術を導入するなどして、工事日数の短縮化や騒音リスクの低減を図っています。



騒音リスクの低減



安芸津太陽光発電所

